

コ マ ツ

適用範囲		モデル名	PC30MR-5	PC35MR-5	PC45MR-5	PC55MR-5	PC30UU-6	
		適用号機	50001～	30001～	30001～	20001～	20001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	検査基準値					
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度						
		ハイアイドルリング ローアイドルリング (冷却水温) (作動油温)	min ⁻¹ min ⁻¹ (°C) (°C)	2350±50 1200±50 (60～100) (45～55)	2350±50 1200±50 (60～100) (45～55)	2430±50 1225±50 (60～100) (45～55)	2430±50 1225±50 (60～100) (45～55)	2400±50 1200±50 (60～100) (45～55)
		弁隙間 〔吸気弁 隙間〕 〔排気弁 隙間〕 (測定条件)	mm mm (°C)	0.20±0.05 0.20±0.05 (常温)	0.20±0.05 0.20±0.05 (常温)	0.20±0.05 0.20±0.05 (常温)	0.20±0.05 0.20±0.05 (常温)	0.20±0.05 0.20±0.05 (常温)
	圧縮圧力 (エンジン油温) (回転速度)	MPa kg/cm ² (°C) (min ⁻¹)	2.65 27 (40～60) (250)	2.65 27 (40～60) (250)	2.45 25 (40～60) (250)	2.45 25 (40～60) (250)	2.65 27 (40～60) (250)	
燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	MPa kg/cm ²	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール	
冷却装置	ファン駆動ベルトの張り 〔測定位置・条件〕	mm	7～10 ファンブリー ～オルタネータ ブリー 指圧 10kg 98N	7～10 ファンブリー ～オルタネータ ブリー 指圧 10kg 98N	5～8 ファンブリー ～オルタネータ ブリー 指圧 10kg 98N	5～8 ファンブリー ～オルタネータ ブリー 指圧 10kg 98N	7～10 ファンブリー ～オルタネータ ブリー 指圧 10kg 98N	
走行装置	走行性能	最高速度 〔測定位置・条件〕 (図面番号表示)	S	ゴム履帯 15.7±4 鉄履帯 16.4±4 〔20m 走行〕	ゴム履帯 15.7±4 鉄履帯 16.4±4 〔20m 走行〕	ゴム履帯 15.7±4 鉄履帯 16.7±4 〔20m 走行〕	ゴム履帯 15.7±4 鉄履帯 16.7±4 〔20m 走行〕	ゴム履帯 15.7±4 鉄履帯 16.4±4 〔20m 走行〕
		張り(たわみ量) 〔測定方法・条件〕 (図面番号表示)	mm	1～3 アイドラと キャリアローラ の中間部 図 2-5 参照	1～3 アイドラと キャリアローラ の中間部 図 2-5 参照	1～3 アイドラと キャリアローラ の中間部 図 2-5 参照	1～3 アイドラと キャリアローラ の中間部 図 2-5 参照	1～3 アイドラと キャリアローラ の中間部 図 2-5 参照
	張り(たわみ量) 〔測定方法・条件〕 (図面番号表示)	mm	10～30 アイドラと キャリアローラ の中間部 図 3-3 参照	5～15 アイドラと キャリアローラ の中間部 図 3-3 参照	10～30 アイドラと キャリアローラ の中間部 図 3-3 参照	10～30 アイドラと キャリアローラ の中間部 図 3-3 参照	10～30 アイドラと キャリアローラ の中間部 図 3-3 参照	
	リンクピッチの伸び 〔測定方法・条件〕	mm	107 〔1リンク〕	107 〔1リンク〕	143 〔1リンク〕	143 〔1リンク〕	107 〔1リンク〕	
	履板取付けボルト 締付けトルク 〔測定方法・条件〕	N・m kg・m	—	—	—	—	—	

★印：新車基準値を表す。

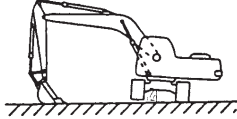
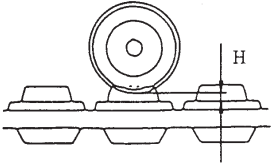
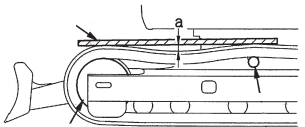
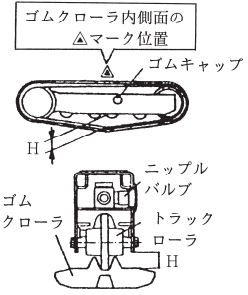
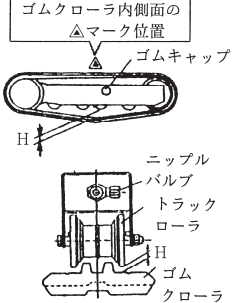
PC38UU-6	PC58UU-6							
60001～	30001～							
検査基準値								
2400±50 1200±50 (60～100) (45～55)	2550±50 1225±50 (60～100) (45～55)							
0.20±0.05 0.20±0.05 (常温)	0.20±0.05 0.20±0.05 (常温)							
2.65 27 (40～60) (250)	2.45 25 (40～60) (250)							
コモンレール	コモンレール							
7～10 ファンブリー ～オルタネータ ブリー 指圧 10kg 98N	7～10 ファンブリー ～オルタネータ ブリー 指圧 10kg 98N							
ゴム履帯 15.0±4 鉄履帯 15.4±4 〔20m 走行〕	ゴム履帯 17.1±4 鉄履帯 16.4±4 〔20m 走行〕							
1～3 アイドラと キャリアローラ の中間部 図 2-5 参照	1～3 アイドラと キャリアローラ の中間部 図 2-5 参照							
10～30 アイドラと キャリアローラ の中間部 図 3-3 参照	10～30 アイドラと キャリアローラ の中間部 図 3-3 参照							
107 〔1リンク〕	143 〔1リンク〕							

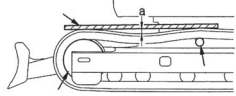
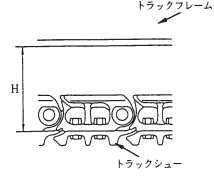
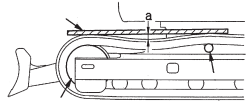
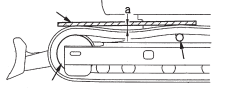
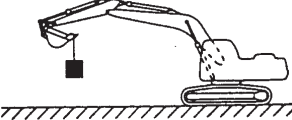
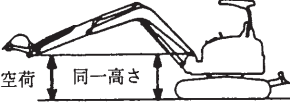
コマツ

適用範囲		モデル名	PC30MR-5	PC35MR-5	PC45MR-5	PC55MR-5	PC30UU-6	
		適用号機	20001～	20001～	20002～	30001～	15001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	検査基準値					
業 装 置	作業機 自然降下	バケット先端位置	450	450	450	450	450	
		(測定時間) (作動油温) (作業装置姿勢 (図面番号表示) 荷重)	(min) (°C) (kg N)	(15) (45～55) [図4-1参照] 144 1410	(15) (45～55) [図4-1参照] 108 1058	(15) (45～55) [図4-1参照] 230 2254	(15) (45～55) [図4-1参照] 250 2450	(15) (45～55) [図4-1参照] 144 1410
	シリンダー 自然伸縮	ブームシリンダー	30	15	30	30	30	
		アームシリンダー バケットシリンダー ブレードシリンダー (測定時間) (作動油温) (作業装置姿勢 (図面番号表示) 荷重)	mm mm mm (min) (°C) (kg N)	30 30 30 45 (15) (45～55) [図4-1参照] 144 1410	44 24 45 (15) (45～55) [図4-1参照] 108 1058	30 30 30 45 (15) (45～55) [図4-1参照] 230 2254	30 30 30 45 (15) (45～55) [図4-1参照] 250 2450	30 30 30 45 (15) (45～55) [図4-1参照] 144 1410
	作業機 速度	ブーム上げ (作業装置姿勢 (図面番号表示))	S	3.2	3.0	3.4	3.4	4.0
			[図5参照]	[図5参照]	[図5参照]	[図5参照]	[図5参照]	
		アームシリンダー伸ばし 縮め (作業装置姿勢 (図面番号表示))	S	3.4	3.0	3.6	3.7	4.1
			S	3.1	2.6	3.0	3.0	3.3
		[図6参照]	[図6参照]	[図6参照]	[図6参照]	[図6参照]		
	バケットシリンダー伸ばし 縮め (作業装置姿勢 (図面番号表示)) 性能測定条件 (荷重・設定モード等)	S	3.2	3.2	3.5	3.4	3.2	
S		2.5	2.6	2.4	2.4	2.5		
[図7参照]	[図7参照]	[図7参照]	[図7参照]	[図7参照]	[図7参照]	[無負荷]		
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力	MPa	25.5～26.9	26.0±0.98	26.5±0.98	26.5±0.98	24.5±0.98
		(性能測定条件 (設定モード等) ・油温 ・エンジン回転)	kg/cm ² (°C) (min ⁻¹)	260～275 (45～55) (フル回転)	265±10 (45～55) (フル回転)	270±10 (45～55) (フル回転)	270±10 (45～55) (フル回転)	250±10 (45～55) (フル回転)
動力 伝達 装置	旋回ベアリング 取付けボルト の締付け	アウターレース取付け ボルトの締付けトルク	N・m	118～137	118～137	118～137	118～137	98～123
		kg・m	12.0～14.0	12.0～14.0	12.0～14.0	12.0～14.0	10.0～12.5	
		インナーレース取付け ボルトの締付けトルク	N・m	98～123	118～137	98～123	98～123	98～123
	kg・m	10～12.5	12.0～14.0	10～12.5	10～12.5	10.0～12.5		
	旋回減速機取 付けボルトの 締付け	油圧モーター取付けボ ルトの締付けトルク	N・m	—	—	—	—	—
kg・m								
		旋回減速機取付けボ ルトの締付けトルク	N・m					
		kg・m						

★印：新車基準値を表す。

PC38UU-6	PC58UU-6							
15001～	15001～							
検査基準値								
450 (15) (45～55) [図4-1参照] 180 1760	450 (15) (45～55) [図4-1参照] 360 3530							
30 30 30 45 (15) (45～55) [図4-1参照] 180 1760	15 45 22 45 (15) (45～55) [図4-1参照] 360 3530							
3.0 [図5参照]	3.6 [図5参照]							
4.6 3.9 [図6参照]	4.2 3.7 [図6参照]							
4.1 2.7 [図7参照]	3.9 2.8 [図7参照]							
[無負荷]	[無負荷]							
25.5～26.9	26.5±0.98							
260～275	270±10							
(45～55) (フル回転)	(45～55) (フル回転)							
98～123	98～123							
10.0～12.5	10.0～12.5							
98～123	98～123							
10.0～12.5	10.0～12.5							

<p>走行性能測定姿勢</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・エンジンフル ・作動油温：45～55℃ ・履帯を片側ずつ持ち上げて1回転空転後の5回転の空転所要時間 <p>(図 No. 1)</p>	
<p>ゴム履帯の張り (たわみ量) 測定方法</p>	<p>履帯を浮かせゴムクローラの継ぎ目部(Mマーク)をアイドラ・スプロケット間中心上側にし、トラックローラとゴムクローラ転動面とのすき間を測定する。</p>  <p>(図 No. 2-1)</p>	<p>アイドラと1番目のキャリアローラ間のトラックシューの上に角材を乗せる。角材とトラックシューの間の最大すきまaを測定する。</p>  <p>(図 No. 2-2)</p>
	<p>履帯を浮かせ、ゴムクローラ内周面の▲マークをクローラフレーム上部のスラセ板の上に合わせた状態で、クローラフレーム下面とゴムクローラ踏面とのすき間を測定する。</p>  <p>(図 No. 2-3)</p>	<p>履帯を浮かせ、ゴムクローラ内周面の▲マークをクローラフレーム上部のスラセ板の上に合わせた状態で、アイドラ側より2番目のトラックローラ転動面とゴムクローラ踏面とのすき間を測定する。</p>  <p>(図 No. 2-4)</p>

	<p>アイドラからキャリアローラまで届く角材を履帯上に置く。 履帯上面と角材下面間の最大たるみ量を測定する。</p>	 <p>(図 No. 2-5)</p>
<p>鉄製履帯の張り (たわみ量) 測定方法</p>	<p>履帯を浮かせ、トラックローラ踏面とトラックリンク上面とのすき間を測定する。</p>  <p>(図 No. 3-1)</p>	<p>アイドラと1番目のキャリアローラ間のトラックシューの上に角材を乗せる。角材とトラックシューの間の最大すきまaを測定する。</p>  <p>(図 No. 3-2)</p>
	<p>アイドラからキャリアローラまで届く角材を履帯上に置く。 履帯上面と角材下面間の最大たるみ量を測定する。</p>	 <p>(図 No. 3-3)</p>
<p>作業機自然降下量 及び 各シリンダの 自然伸縮量測定姿勢</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・上記の姿勢から各シリンダの伸び量、縮み量およびバケットツース先端の降下量を測定する。 ・水平・平坦地 ・バケット：定格負荷 ・レバー中立 ・エンジン停止 ・作動油温：45～55℃ ・セッティング直後に測定開始 ・5分毎に降下量を測定し、15分間にて判定する。 <p>(図 No. 4-1)</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・エンジン：停止 ・作動油温：45～55℃ ・ブームピンとバケットピンの高さを同一とする。 ・上記の本機姿勢で10分間の各シリンダロッドの伸び量又は縮み量を測定する。 ・ブレード自然降下量は最大上げ位置より10分間のシリンダロッド縮み量を測定する。 <p>(図 No. 4-2)</p>

コ マ ツ

作業機速度測定姿勢	ブーム上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・エンジンフル ・作動油温：45～55℃ <p>(図 No. 5)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エンジンフル ・作動油温：45～55℃ <p>(図 No. 6)</p>
	バケットシリンダ 伸ばし 及び 縮め	<ul style="list-style-type: none"> ・エンジンフル ・作動油温：45～55℃ <p>(図 No. 7)</p>	